

オンライン朝礼

14日(月)は、本校で初めて、オンライン朝礼を行いました。生徒会役員6名と関係職員が校長室に集まり、タブレットの会議ソフトを利用して各教室に配信しました。各教室では、職員用タブレットをプロジェクターにつなぎ、映し出しました。先週のテスト配信での課題を改善し、スムーズに朝礼を進めることができました。これからも必要に応じて、オンラインで朝礼等を行っていきます。



○ 校長講話

1945年8月9日、午前11時2分に長崎に原爆が落とされました。長崎原爆資料館の展示室入り口にある柱時計は、爆心地から約800mの民家にあったもので、爆風で損傷していますが、時計の針は11時2分を指しています。「焼き場に立つ少年」は、2017年にローマ教皇が、「戦争がもたらすもの」という言葉を添えて、世界の教会に配布されたカードに載せられた写真です。10歳くらいの少年が、すでに息を引き取った弟を背負って、火葬の順番を待っているものとされています。この写真も長崎原爆資料館に展示されています。



長崎原爆資料館は、被爆の惨状、原爆が投下されるに至った経過、核兵器開発の歴史、平和への願いなどの展示を行っています。展示は、4つのゾーンに分かれています。最初のゾーンは、原爆投下前の長崎の街や風景、市民生活が展示されています。次に進むと、原爆投下直後の街の惨状が展示されています。原爆による熱線や爆風で、被害を受けた中学校の給水タンク、火の見やぐら、工場の鉄骨、キリスト教会の建物が再現されています。さらに進むと、原爆の熱線、爆風、放射線などでどのような被害が起きたか学ぶことができます。長崎市街の地形模型で、模型上に熱線、爆風、放射線の広がり映し出し、周りのモニターの写真や映像で被害の状況を説明しています。爆心地近くでは、熱線のすさまじいエネルギーによって、燃えるものすべてが火をふきました。当時14歳の女子学生の遺品である弁当箱も展示されています。弁当箱に詰められていたごはんは、黒く炭化しています。放射線は人体を通ると、いろいろな細胞を破壊します。爆心地から1キロメートル以内では、被爆した人たちのほとんどが亡くなっています。放射線は身体の奥深くを傷つけ、時がたつにつれて様々な症状を引き起こします。



長崎に落とされた原爆の模型も展示されています。「ファットマン」と呼ばれ、長さ約3m25cm、直径約1m52cm、重さ約4.5トンありました。原爆は、ウランやプルトニウムを使った核兵器です。原爆投下は、名古屋を含めた17都市の中から、最終的に広島、九州の小倉と長崎が目標となりました。8月6日の広島投下の3日後、小倉に投下予定でしたが、小倉上空は天候不良で雲に覆われていたので、予定を変更して長崎に向かいました。



原爆は、約500m上空で爆発しました。現在、平和公園の祈りのゾーンに、爆心地を示す石柱の碑が建てられています。石柱の前には、現在までに原爆で亡くなられた189,164人の名簿が安置されています。平和公園の願いのゾーンには、平和祈念像や平和の泉などが



あります。平和祈念像は、高さ約9.7メートル、重さ約30トンの青銅製で、「右手は原爆を示し、左手は平和を、顔は戦争犠牲者の冥福を祈る」と作者の言葉が刻まれています。平和の泉の正面の石碑にも、被爆当時9歳だった少女の言葉が刻まれています。

のどが乾いてたまりませんでした
水にはあぶらのようなものが
一面に浮いていました
どうしても水が欲しくて
とうとうあぶらの浮いたまま飲みました



原爆のため体内まで焼けただれた被爆者は「水を」「水をくれ」とうめき叫びながら、死んでいきました。日本は、世界で唯一の原爆を落とされた国です。明治・大正・昭和の時代で戦争をしましたが、平成は戦争はありませんでした。令和も戦争のない時代であってほしいことは言うまでもありません。私たちは、戦争や原子爆弾を体験していない年代ですが、その悲惨さをこれからも忘れないようにしなければなりません。

広島、長崎に原爆を落とされた太平洋戦争は、特攻が行われた戦争でした。終戦が近くなると、爆撃機が日本本土の都市に無数の爆弾を落とす攻撃や沖縄上陸などがありました。日本軍は追い詰められる状況で、特攻隊を組織し、戦闘機に爆弾を付けて、空母などに体当たりする攻撃を行いました。特攻で戦死された方は、約4000人いました。その中には、君たちとあまり変わらない十代の若者たちがいました。どのような気持ちで出撃していったのかを考えると胸がつかまります。

世界には、今でもどこかで紛争などの争いごとが起きています。その影響を受けている国や地域で暮らす子どもたちだけで、約2億4,600万人います。たくさんの方が命を奪われたり、家族を失ったりするなどの辛く悲しい思いをしています。住む場所を追われる人も少なくありません。SDGs（エス・ディー・ジーズ）は「持続可能な開発目標」という意味です。世界中の国々がいっしょになって、地球を住みやすい星にしようという取組です。2030年までに達成すべき17の目標があります。これらは、地球や世界を将来にわたって持続させるための目標です。目標16に「平和と公正をすべての人に」があります。戦争はもちろん、紛争や暴力などがない、どこにいても安全・安心な世界になることを願っています。



（職員室前廊下に関係資料を展示していますので、手に取ってみてください）

○ 伝達表彰

- 吹奏楽部 2021年度愛知県アンサンブルコンテスト西尾張地区大会
木管六重奏 銀賞 ・ 金管八重奏 銅賞
- 海部地区小中高生徒指導連絡協議会
人権尊重の啓発・非行防止・情報モラルの向上に関する作品募集
中学校標語の部 優秀 3年生1名 ・ 中学校ポスターの部 入選 3年生1名
- 令和3年度「家庭の日」県民運動啓発ポスター 努力賞 2年生1名

津島市家庭防災の日

2月20日（日）は、「家庭防災の日」です。津島市では、「災害に備えて日頃から家族で話し合いましょう」と呼びかけています。2月のテーマは、「災害に備え、家庭で準備をしましょう。大災害の場合は、7日分程度の飲料水や食料品が必要となります。災害対策チェックリストで確認してみましょう」です。2月14日（月）のオンライン朝礼で、2月中に行う避難訓練に向けて、津波・洪水・高潮が起きた際の避難について、防災学習を行いました。普段から災害に関する知識を身に付け、災害を正しく理解し、何を備えておけばよいかを考え、災害に対する準備をしておくことが、「自分の命は自分が守る」につながると思います。

